

# 巢状糸球体硬化症 (FSGS) の治療のために受診中あるいは受診経験のある 患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター腎臓内科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用し、国立病院機構千葉東病院腎臓内科を代表機関とする多施設共同臨床研究に参加いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力ををお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、外来主治医にお伝えいただくか、下記の【問い合わせ先】へ平成30年11月30日までにご連絡ください。ご連絡をいたしかなかつた場合は、ご了承いただいたものとさせて頂きます。

## 【研究課題名】

日本腎生検レジストリーを利用したわが国における巢状分節性糸球体硬化症の variant の予後についての二次調査

## 【研究の背景と目的】

日本腎臓学会によって構築された「日本腎生検レジストリー (JRBR)」のデータを利用した二次研究として、わが国の巢状分節性糸球体硬化症 (FSGS) の variant (亜型) についての調査を行い、variant の違いによる臨床的特徴と腎予後を明らかにします。

## 【対象となる方】

2010年1月より2013年12月末までに当院で巢状分節性糸球体硬化症 (FSGS) と診断され、すでに実施している「腎生検レジストリー (JRBR)」の登録について同意をされている方。

## 【使用する検体・診療情報】

この研究は、厚生労働省が示した「臨床研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

## 【研究期間と参加予定人数】

この研究は、平成34年12月31日まで実施され、全国で585人（当院で9人）の患者さんが対象となっています。

## 【個人情報の保護】

本研究で用いるJRBRのデータベースから利用できる情報はすべて匿名化されたものであり、今回追加で調査する項目についてもすべて匿名化され、特定の個人を識別することはできません。

## 【結果の公表】

収集されたデータは、個人が特定できない形式で厳重に管理され、研究終了後5年間保存されます。研究で得られた成果は学会等で発表されることがあります。その際も、患者さんを特定できる

個人情報は公開致しません。

【参加施設】

金沢医科大学腎臓内科／岡山大学／国立病院機構千葉東病院／長崎大学／福岡大学／新潟大学／東京女子医科大学腎臓小児科／和歌山県立医科大学小児科／東北大学／富山県立中央病院／大阪大学／川崎医科大学／香川大学／徳島大学小児科／信州大学／名古屋第二赤十字病院／京都大学／熊本大学／九州大学／東京都立小児総合医療センター／筑波大学／名古屋大学／公立松任石川中央病院／田附興風会医学研究所北野病院／鳥取大学周産期・小児医学／帝京大学内科／北海道大学／旭川医科大学／北海道医療センター／岩手県立中央病院／JCHO仙台病院／山形大学第一内科／水戸済生会総合病院／埼玉医科大学腎臓内科／埼玉医科大学総合医療センター／獨協医科大学埼玉医療センター(越谷病院)／東京女子医科大学第四内科／順天堂大学／昭和大学／昭和大学藤が丘病院腎臓内科／横浜市立大学附属市民総合医療センター／富山市立富山市民病院／金沢大学／福井大学腎臓病態内科学／中濃厚生病院／静岡県立総合病院／富士宮市立病院／浜松医科大学／藤田保健衛生大学腎内科／愛知医科大学／名古屋市立大学／あいち小児保健医療総合センター／三重大学／大阪市立大学第二内科／大阪赤十字病院／大阪市立総合医療センター／市立池田病院／豊中市立豊中病院／神戸大学／和歌山県立医科大学腎臓内科・血液浄化センター／島根大学／倉敷中央病院／高知大学／福岡赤十字病院小児科／久留米大学／福岡東医療センター／宮崎大学

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 腎臓内科 竹田 徹朗 (教授)

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 腎臓内科 担当者：吉野 篤範 (准教授)

電話番号：048-965-1372 (医局直通)

平日 AM9:00～PM17:00

以上